

芹ヶ谷公園“芸術の杜”デザインブック報告会 その他ご意見と回答

意見	回答
<p>ご報告ありがとうございます。近隣住民にとって利用しやすい工芸館が出来ることを期待しています。 車椅子等気楽に利用出来ることが必須と思います。 段差、高低差は年と共にきつくなります。歩きやすさを考えて設計していただけると助かります。(広場)上の駐車場をふやしてくださいませんか。路上にとめています。</p>	<p>(仮称)国際工芸美術館の整備にあわせて、公園のバリアフリー機能向上のための整備も行ってまいります。美術館内も車いすやベビーカーの方がご利用しやすい環境に配慮した整備を行ってまいります。 現在、国際版画美術館の企画展等に合わせて、冒険遊び場前駐車場(20台)に隣接している草地広場を臨時駐車場として開放しています 今後は公園の利用状況に応じ、適宜、臨時駐車場の開放を行ってまいります。併せて、周辺の道路整備状況を踏まえた駐車場の増設整備の検討を行ってまいります。</p>
<p>税金が減っているので公園の樹木や植物の手入れにお金がかげられないと言いつつ、新たな建築物をたくさん作ることに莫大な費用をかける計画が「身の丈に合った」ものとは考えにくい。きちんと維持整備されず、荒れ果てたステージが残るのではなく、常に整備された美しい公園としてイベントで人が集まる公園より、美しく落ち着いた“芸術の杜”としての計画をお願いしたい。 今後の公園の自然に対する維持、管理の予算計画は増額されているのか。 箱物行政の時代の計画のように見えてとても残念である。今後とも始めにストーリーありきの行政ではなく、共に対話しつつ進めて欲しい。</p>	<p>芹ヶ谷公園に限らず、町田市全体の公園における維持管理の予算は減少傾向にあります。 限られた予算の中でも町田市の公園が市内外の様々な方々に選ばれ続けるため、芹ヶ谷公園を重要な魅力発信の拠点に位置づけ、「芹ヶ谷公園“芸術の杜”プロジェクト」として市民の皆様と一緒に公園の活用方法について検討を進めてまいりました。 芹ヶ谷公園における「ステージ」は、デザインブックp35、36にもあるように、建築物だけを指したのではなく、既に公園にある広場空間やアート作品、公園の豊かな自然そのものも含め、公園内にあるそれぞれの空間にあわせて芹ヶ谷公園における文化芸術と自然の体験型プログラムの活動場所となること、日常的な遊び・憩いなどの居場所となることを総じて「ステージ」と称しています。イベントによる人寄せを想定したハード整備を推進するものではありません。 (仮称)国際工芸美術館は、老朽化による博物館の閉鎖に伴いその作品や活動を引き継ぐ施設です。少子化・高齢化が進む中で財政状況が厳しくなる中、いかに効率的に公共施設を維持管理していくか考え方を定めた「町田市公共施設再編計画」の考え方に沿って、単に新たな箱モノを増やすのではなく、既存の国際版画美術館と接続し、機能や設備の共有・連携を図ることで、単独で整備するより大幅に面積を削減しております。 また、2つの美術館を一体化することによって、2館トータルでの維持管理コストの削減も見込んでいます。</p>
<p>土の感触が無くなってしまふのでは？ 最近の芹ヶ谷公園内は休日に TENT を張る人たちが目立つようになりまし た。新しいデザインされた公園には似つかわしいので、規制をかけてほしい です。 高低差をなくすためのエレベーター設置は自然景観を壊すだけです。</p>	<p>芹ヶ谷公園は、町田駅からも徒歩圏内で訪れることのできる自然豊かな公園であり、多くの市民の憩いの空間です。 今回の整備では、様々な人が日常的に居心地の良い時間を過ごせるよう、あずまややデッキなどのくつろげる空間を整備してまいります。 また、谷戸地形が残る自然豊かな公園である一方で、既存園路が現在のバリアフリーの基準を満たしていない箇所があります。誰もが安心して公園をご利用頂くためのバリアフリーの動線を確保するため、園路の整備と合わせて、エレベーターの設置が必要と考えています。エレベーターの設置については、谷戸地形の景観にも配慮し、単独で建てるのではなく、現状の谷戸地形に馴染むよう(仮称)国際工芸美術館と一体的に整備してまいります。</p>
<p>公園の良さを無視をした工芸美術館は反対です。緑地課の怠慢(?) かもしれませんが、緑の多い公園、段差も多い階段が魅力なのです。スロープを作る事は反対はしませんが、樹木を切る事は、切り口を見るたびに子どものころを思い出しながら切なく思います。こんなに木を切って緑が少なくなることが心配です。小田急線の下の池やせりがでる湧き水のある所の清掃をしっかりとってほしい。まずそれから。お願いしたい。日本庭園、もみじの所もしっかり手をいれて、昔はプールだった。(子どもの頃)</p>	<p>谷戸地形や雑木林がつくる緑と水の風景は、他の公園では見られない芹ヶ谷公園ならではの大切な資源です。この資源を未来へ繋ぎ、魅力的な空間として維持していくためには、樹木の状態を見ながら剪定等を行い、適切に管理していく必要があります。 芹ヶ谷公園では、これまでに樹木の繁茂によって暗くなってしまう場所が発生していたため大規模な剪定等により雑木林の更新を行いました。最近では、ナラ枯れ(※)の被害への対応として樹木の剪定等を行っています。 池についても、来園者に安心・安全に楽しんでいただけるよう定期的に清掃を行っています。 今後も、芹ヶ谷ならではの自然環境に配慮しながら公園整備を行い、適切に管理を行ってまいります。</p>
<p>パリ協定を守ることを公にした以上、2050年には温暖化ガス排出量を実質ゼロにしなければならない。加えて省エネ及び環境保全、緑の育成(CO2の吸収)が今後行うべき必須の要件となる。加えて日本の場合は人口の減少、期待できない経済成長という状況下で、提案された計画は総じて時代の動向にそぐわない。見直しが必要と感じる。</p>	<p>※ナラ枯れ:カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により、ブナ科に属する種の樹木が枯死する樹木の病気。</p>

芹ヶ谷公園“芸術の杜”デザインブック報告会 その他ご意見と回答

意見	回答
<p>全ての計画が中途半端である。これから使う年月を考えるともっと時間をかけて計画を再度、検討すべきである。</p>	<p>(仮称)国際工芸美術館の整備については、2009年度に実施した「町田市博物館等の在り方に関する市民アンケート調査」以降、庁内の検討委員会、学識経験者や地域のまちづくり団体の方などによる外部の専門委員による検討委員会、博物館運営委員会での検討など、多くの方が携わってきた長年の検討を経て、現在の方向性やあり方を導いてまいりました。 (別添資料①参照)</p>
<p>市民のニーズがないところに、基本的な無理がある。 計画を進める上で、市民の意思をもっともっと聞く必要がある。 公園は市民の憩いの場所であればよく、芸術の杜である必要はない。</p>	<p>町田市が所有する工芸美術品は、チェコガラス、中国ガラス、東南アジア陶磁など、国内有数の充実したコレクションであり、そのコレクションは、町田市を信頼して託して頂いた多くの寄贈品にも支えられています。(仮称)国際工芸美術館は、これらの収蔵品を博物館から引き継ぎ、その価値をより多くの方に伝えようと、「暮らしの中の知恵と美」を基本理念として、良質な文化に触れる機会を提供するとともに、まちの賑わいにも貢献していくことを目指しています。 (別添資料②参照)</p>
<p>現在、工芸館が必要か決まったからではなく、本当に必要なものを考えてください。もっと市民の声を聞いてください。</p>	<p>このような背景から、(仮称)国際工芸美術館の整備にあたっては市民の皆さまや公園をご利用の方からも多様なかたちでご意見を頂き、多面的な視点から総合的に検討してまいりました。2019年8月に市立国際版画美術館講堂にて開催した「～みんなで芹ヶ谷公園の未来を考えよう～」と題したスタートアップミーティングから始まり、公園の将来の姿を考えるワークショップ形式のアイデア抽出イベントや、若い世代のご意見を聞く取組として町田の未来を考える若者グループや市内の学校との連携。また、子どもセンターまあちの来館者や、せりがや冒険遊び場の来場者、時代祭り、ゆうゆう版画美術館まつりなど、芹ヶ谷公園で開催されたイベントに参加された方などにご協力いただき、アンケート形式でのご意見の抽出なども行ってまいりました。</p>
<p>決定されているという姿勢は市民参加を無視している。</p>	<p>パークミュージアムというコンセプトの策定に際しては、2019年12月16日から2020年1月17日にかけて市民意見募集を実施し、また、募集期間中の12月21日には、版画美術館講堂にて報告会、意見交換会を開催いたしました。2020年1月からは、コンセプトや今後の取組について紹介するパークミュージアムラボというイベントを始めました。</p>
<p>「報告会」であるならば、今さら意見を聞くことはせず、今までに出た意見を整理した上で、今回はこのように決めた、と伝えるようにしてください。今さらのような意見が多くて不快でした。</p>	<p>基本設計の進捗状況につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響も鑑みて、大人数での集合方式の説明会ではなく書面にてお知らせいたしました。市のホームページでの周知、市民生活連絡会での周知、公園近隣の町内会・自治会への回覧周知を行い、2020年7月から8月にかけて意見募集を行いました。その際、ご要望のあった6つの町内会・自治会には個別に小人数での説明会を開催し、意見交換をさせていただいているほか、国際版画美術館の工房利用者への説明会の実施や喫茶店運営者との意見交換を行ってまいりました。 (別添資料③参照)</p>
<p>コンセプトと中身がともなっていないことはよくわかった。</p>	<p>今回の報告会は、これまでの検討の成果について皆さまにご報告すると共に、今後につながるご意見等を頂きたく開催いたしました。今後も丁寧に説明や意見交換を行い、より多くの方にご理解頂けるよう引き続き努力してまいります。</p>
<p>P63 国際版画美術館と国際工芸美術館と親和性を持つファサードデザイン？公園の環境と調和した外壁素材の選定になっている？現在実施設計中ということですが、今後その途中経過の報告や市民との意見交換はあるのか。何回あるのか。 基本設計期間はコロナの影響があったと思うので、これからは公に説明して行ってほしいです。</p>	<p>もう一度立ち止まって考える必要があると思います。前からヒアリングしていたとのことですが、寝耳に水でした。どこに載っていたのでしょうか。(美術手帳の記事で初めて知りました)。このようなレイアウトなら大きく山を削らず、版画美術館アトリエを潰すことなく安価にできると思います。 美術館の中を通路にするのは反対です(作品保全上、特に虫と湿気)</p>
<p>原案の設計ありきで進めようとしており、住民の意見を取り込み、説得・理解させようとする姿勢が感じられない。 プロジェクト解説だけでは無理がある。フィールドワークで現場での説得を望む。ぜひ実施願いたい。</p>	<p>現在の設計案につきましては、前回の設計時に議会や住民の方等からご指摘頂いた課題を踏まえ、また、多くの方のご意見やアイデアを頂きながら検討してきたものです。また、今回ご説明した「デザインブック」の前には、公園整備や美術館設計にあたっての考え方や方向性等についてまとめた「コンセプトブック」を作成し、公表するとともに説明会やご意見募集も行ってまいりました。この度の報告会においても会場に模型を展示いたしました。今後は、ご提案頂いたフィールドワークや模型の活用等も含め、分かりやすい説明の場を継続して設けてまいります。</p>
<p>工事にあたる現場で近くの住民を集めて丁寧に説明して計画を進めて欲しい。</p>	<p>視覚に訴える素人にわかりやすい模型を国際版画美術館に展示して市民の判断の材料にしてほしい。木とか人なども再現してほしい。</p>
<p>設計が実施設計段階で説明をするのでは遅い。市民への説明不足、説明会自体意味の無いものになってしまう。 谷戸としての芹ヶ谷公園の良さが無くなってしまふ。 公園整備の方向性が誤っていると思う。</p>	<p>谷戸地形や雑木林がつくる緑と水の風景は、他の公園では見られない芹ヶ谷公園ならではの大切な資源です。また、自然だけでなく谷底の地形に作られた美術館や広場空間は人の集まる場となり、日常の憩いと賑わいを生み出しています。今回の公園整備では公園内の地形や自然環境に配慮しながら谷と水と人をつなぐ空間を創り出し、自然環境を積極的に楽しめ、日常生活に更に寄り添ったくつろぎの居場所と、この環境でしかない多様な人々の活動が生まれる様な空間づくりを目指してまいります。</p>

芹ヶ谷公園“芸術の杜”デザインブック報告会 その他ご意見と回答

意見	回答
<p>生活道路としてEVを考えていない。 道路をいつも自転車で押していく人が困っている。状況の解消されていない。 かなりの斜面を切り崩すとき、地盤の耐久性等はどうか。</p>	
<p>版美と工芸美術館を一体化すること、利用する人が使いやすいエレベーターが両立するように、もう一度考えてください。 今のエレベーターの位置はわかりづらく、自転車も利用できないので、利用者目線で考えてください。</p>	<p>エレベーター整備の考え方についてですが、主目的は、(仮称)国際工芸美術館の整備に伴い新設するエレベーターを活用することで、地元の皆さまからのかねてからの要望である公園内の高低差の解消に寄与する新たなバリアフリー動線を整備するものです。 自転車の利用は想定しておりませんが、利用可能な時間につきましては、地元の皆さまのご要望にも配慮して検討を進めており、美術館の休館日についても利用できることを前提とした設計を行っております。</p>
<p>エレベーター、スロープも現段階の説明では無理があると思います。コロナの事情があるとしても、もっと大々的に意見を求めて欲しい。</p>	<p>美術館の鑑賞を目的として訪れた場合の館内動線については、国際版画美術館の展示と(仮称)国際工芸美術館の展示の両方をお楽しみ頂ける流れを意識して設計しております。各展示フロアは屋内空間であるブリッジで接続されており、エレベーターもご利用頂けますので、車いすの方やベビーカーをご利用の方でもスムーズに移動が可能です。 公園のサイン標示と合わせて、利用される方にとって分かり易い案内標示等を検討してまいります。</p>
<p>①工芸館の設計について 動線、配置、景観、コストの点で多々問題あり。 EVと美術館との動線は分離したほうが良い。 ②説明会の進め方 今後とも交換会を開いてほしい。 意見・要望をどのように取り入れていくのか？</p>	<p>建設場所が斜面地であることで、平米単価で考えた場合は(平地での工事と比較して)割高になりますが、今の配置や形状としたことで、「パークミュージアム」というコンセプトに沿い、公園や国際版画美術館との連携や繋がりを実現すると共に、美術館に必要な機能を2つの建物でできるだけ共有して一体化することにより、2館トータルでの維持管理コストの削減も見込んでいます。 地盤の耐久性については、ボーリング等の地盤調査を行い、その結果に基づき安全性を確保した設計にしております。 今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。</p>
<p>EV棟の計画については、おおいに改善の必要があると思われる。動線の複雑さや利用者が限定されるなど問題を解決してください。</p>	
<p>公共施設再編や財政負担縮小を説明しているが、工芸館の配置は斜面を削る大工事で非常にコストがかかる。将来の維持管理のコスト負担も大きくなる。経済性のため規模を小さく見直したとの説明だが、矛盾していないか？ EV位置に対する異論が多い。ぜひ見直しをお願いする。 今の配置になった経緯とその中で建設コスト、維持管理コストについてどのような検討がなされたのか説明をお願いします。</p>	
<p>私は現在目黒美術館での設備の仕事をしています。美術館での保守作業との関係でメンテを考えて建物、設備を活用していただきたい。(照明具、空調機、トイレ)</p>	<p>ご期待に沿えるよう、開館後の運用や保守メンテナンス等も考慮し、新しく整備する(仮称)国際工芸美術館の設計を進めてまいります。</p>
<p>工芸美術館は、博物館法上の「博物館」でしょうか。「博物館類似施設」でしょうか。 収蔵庫が斜面地に建設される計画ですが、湿気等、収蔵品への悪影響はないでしょうか。</p>	<p>博物館法は「博物館」を「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料」を収集、保管、展示、調査研究する施設と定めています。「美術館」にも博物館法が適用されます。 また、博物館法は、博物館を「登録博物館」「博物館相当施設」「博物館類似施設」の3つに区分しています。(3つの区分についての詳細は別表のとおりです。) 現在の町田市立博物館は「博物館類似施設」です。 (仮称)国際工芸美術館については、今後のよりよい美術館活動(展示・収集等)のために、館としての信頼度が高く、国等からの助成対象になりやすい「登録博物館」もしくは「博物館相当施設」を目指します。 (別添資料④参照)</p>
<p>以前版画美術館の設計は、版画というデリケートな作品の展示、保存に最適な配慮がなされ、100年にびくともしない建物となったとおっしゃる大宇根さんの言葉が心にひびきました。安易な改装でデザインや機能が損なわれるのではないかと危惧します。</p>	<p>国際版画美術館と同様に、新しく整備する(仮称)国際工芸美術館についても美術品の保存・展示に影響が無いように配慮し設計しております。より詳細な設備や設え等についての設計を行う実施設計においても、機能やデザイン、費用面等も考慮して引き続き検討を深めてまいります。</p>
<p>タイケンステージは不要だと考える。カフェもワークショップも体験も版画美術館内で行える。間にある道路は住民にとっては生活道路であり、車通りもあるし、プライバシーもある。駐車場も近く、危険。 自分語りや昔話は不要です。現実的かつ住民全てのことを考え、未来の話をしろ。←企画～課長 SERIGAYAはあまりにもダサイ。</p>	<p>美術館内である現在の版画美術館内の工房では、ガラスや陶磁など新たな分野への拡充に対応ができないため、現在の版画工房をご利用の方はもとより、より多くの方に自ら創作するきっかけや楽しさを提供するために、新たな場(工房)を整備します。 カフェ・レストランについても、美術館とは別棟とすることで対応できる自由度が増す等、今後の運営やサービスのあり方も踏まえ総合的に検討した結果、タイケンステージへの機能の移転を行うこととしました。 また、タイケンステージの検討にあわせて崖の周囲の安全性の検討を行ってまいります。</p>
<p>タイケンステージの予定地の東、西側の崖を整備してやってほしい。</p>	

芹ヶ谷公園“芸術の杜”デザインブック報告会 その他ご意見と回答

意見	回答
<p>芹ヶ谷公園15mの高低差を3.4.11号線が渡り、更にその上10mの橋脚、その上にモノレールが走る、その様子を想像しているのか？そうなったら最早、美しく、心地よく、安全な公園とはとても言えない。その認識をしっかり持っているべきです。時代遅れの乗物であるモノレールの欠点は他にも沢山あります。もっと勉強していただきたい。審議会も持たず、いきなり「推進協議会」で始まった「モノレールありき」の市政は全く信用ならない。町田で決められない架空の事業のために「推進室」を作ったり、準備積立予算を認めるとはどういうことか！不正です。</p>	<p>市政へのご意見として承り、担当の部署とも情報を共有してまいります。</p>
<p>ありがとうございました。</p>	<p>この度はご参加頂きありがとうございました。 引き続き対話の場やご意見をお伺いする多様な機会を設けてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。</p>
<p>市民として(住民として)の意見は良しとして、利害を対象とした意見を持ち、それを行政まで反映させたい個人(又は団体参加?)は排除出来ないのでしょうか。 スムーズな進行の妨げとなっている。 (今晚のケースは前のステージにて反映すべき話だ！)</p>	
<p>利害関係なく考えてくださった。皆さんの案におまかせします。よく考えてできた案と思います。</p>	